

より効果的な林野火災の消火に関する検討会について

1. 検討会の趣旨

林野火災は、貴重な森林資源を大量に焼失するおそれのほか、家屋等への被害、市町村・都府県境を越えた拡大などが懸念される。ヘリコプターによる情報収集と空中消火は、広域応援や地上の消火活動との連携による消火活動を実施するために欠かせない消防戦術であり、都道府県や消防機関が保有する消防防災ヘリコプターや都道府県知事からの災害派遣要請を受けて出動する自衛隊ヘリコプターにより実施されている。

令和3年2月の栃木県足利市における林野火災が発生したが、当該火災は、住宅地の近隣で起きた大規模な林野火災であり、住民の避難なども長期間にわたって行われ、早期に消火を行うために空中消火も活発に行われたものであった。

近年、当該火災をはじめとして、全国的に林野火災が頻発しており、消防活動に多大な負荷が生じているところである。

これをうけ、「より効果的な林野火災の消火に関する検討会」を設置し、足利市林野火災の地上消火活動及び空中消火活動等を検証し、検証結果を踏まえ、より効果的な林野火災の消火活動のあり方を検討する。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
林野火災発生件数	1,106件	1,027件	1,284件	1,363件	1,391件
空中消火実施件数	82件	64件	101件	121件	144件

2. 当面の検証項目

- 足利市林野火災の消火活動の検証等
 - ・空中消火活動
 - ・地上消火活動
 - ・地上消火と空中消火の連携
- より効果的な林野火災の消火活動の検討

3. スケジュール（予定）

令和3年度には、4回程度実施予定